

校長挨拶

市川市立第五中学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和4年度は、入学式で193名の新入生を迎え、2年生209名、3年生227名の全校生徒629名で新しい年度が始まりました。現在教職員は教諭や事務職員、非常勤の職員等を含め54名で、今年度の教育活動を進めてまいります。年度の初めにあたり、教職員には次のことを今年度、重点を置くように確認しました。

- ① 生徒一人一人を大切にすること
- ② **生徒に活躍の場を与えプラスの評価をすること**
- ③ 夢を持たせ、可能性を伸ばす教育活動を行っていくこと
- ④ 教師自らが生徒の手本となる言動を取ること

現在の社会の状況は依然厳しいですが、大人への階段を上がり始めた中学生は自分自身をよく見つめ、よく知り、受け入れ、今の生活を大切にすることが必要です。中学校での1日の生活の中で、毎日、「良かったこと」「楽しかったこと」を見つける事が大切です。きっと1日、1日の自分の成長を感じることができます。自分の良さに気が付くことができます。

そのためには、誰かの役に立つ事、誰かに喜んでもらえる事などを意識して行い家族や友達と協調していく事が大切です。

第五中学校は大野城の跡地に建てたとされ、「城山」という呼び名で呼ばれることもあります。創立して75年目を迎え、保護者・地域の方々のご支援が大変に厚く、感謝しております。子どもたちの健全な成長には、学校・家庭・地域が温かい目で、子どもたちを見守っていくことが大切です。今後も、ご支援ご協力をお願いいたします。